

( 令和6 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 音羽 ) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	○基本的取組 (挨拶・整理整頓)	清掃活動を行い、自分の身の回りの整理整頓をする習慣をつける。今年度は「そうじの時間」と称し、清掃活動を毎月第2・4金曜日と定期的に行うことにした。はじめは清掃場所を学年ごとに指定していたが、回数を重ねていくうちに子どもたち自身で清掃場所を探し見つけていけるようになった。挨拶について今年度は、「なぜ挨拶をするのか」しっかりと指導できていなかったため、次年度以降、繰り返し指導する必要がある。
	健康の管理・情緒の安定	○ヒヤリハットの共有 ○職員による安全指導	児童館内や砂場など危険な箇所があった際にヒヤリハットとして報告、職員間で共有した。 集団下館時の様子など特記事項があれば職員間で共有。帰りの会で児童に注意事項を伝え、安全に下館。次年度以降も継続して安全確保に努めた。
	基本的生活習慣の確立	○アレルギー対策	登録申請時に児童のアレルギーについて、児童館で把握し、適切に提供、配慮する。 食物アレルギー対応が必要な児童には、保護者へ提供可能なおやつをチェックしてもらい、確認がとれたものを提供した。提供する際には、誤ってものアレルギー物質が入っているおやつを渡さないように個別トレイに入れて、事務室まで本人が取りに来るといった形で行った。今後も、アレルギー対応の研修やマニュアルの確認を職員間で実施していく。
	社会生活技術の獲得	○感染症予防指導・風邪予防指導	帰館時・外遊びから帰って来た時・おやつ時に感染症予防に配慮した。手洗後はペーパータオルを使用。看護学校の実習生から、感染症予防指導として、手洗いの仕方やくしゃみや咳の飛沫について学んだ。
		○おやつ提供 ○宿題・勉強の習慣	夕飯までの補食・楽しく食べるにより情緒の安定を図る。 食物アレルギーの児童については成分を確認後、安全に提供。 小学校長期休業時の学習の時間には、学校の宿題やドリル、館で用意したプリントに取り組む。 静かに過ごす時間を設け、机に向かって取り組む習慣を大事にする。
子ども育成機能	生活体験の拡大	○お誕生日会	毎月1回誕生日会を開催。子どもの成長の区切りとなる個々の誕生日を、手作りの誕生日カードの用意と集団あそびを取り入れ、お祝いをした。
	社会性の養成	○当番活動 ○長期休業中の活動	生活の場としての役割を子どもたちが担う活動として、おやつ配膳や帰りの会などでの司会を当番制で行った。今年度初めての取組で慣れていない子どもが多かったが、回数を重ねるうちに自主的に活動する姿や上級生が下級生に教える姿が見られるようになった。 一日の流れを意識して、メリハリを持って生活。1・2年生と3年生以上で部屋を分けて過ごし、夏季休暇中はマンカラとカロムに力を入れた (1・2年生でマンカラ大会を実施)。新聞あそびやコイン落とし、空気砲遊び(科学遊び)など各職員が遊びを企画をしたり、体操教室の講師を招いて運動遊びを行ったりと、長期休業だからこそ楽しめる遊びをした。おやつ提供を駄菓子屋さん形式で実施。3年生以上の児童がスタッフとして看板作りやお店屋さんとなって取り組んだ。特別感のあるおやつ時間となった。
	自立の促進と自主性の尊重	○けん玉検定	昨年度から始めた取組を継続。積極的な周知や実施への声掛けをしなかったことで、練習日を含め、参加者があまりいなかった。次年度も実施するか、実施するのであればどのように進めていくのか要検討。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	○学童クラブだより作成・発行	おたよりを発行することにより、季節ごとの行事、月ごとの予定を周知し、児童の日頃の様子を発信に努めた。うえぶさくらで配信。児童館事業の内容も載せていたが、学童クラブ事業のみを記載することにしたことで情報を分かりやすく受け取れるよう配慮した。(児童館事業も把握できるよう小中高生向けの児童館だよりも添付)
		○入会説明会の実施	3月に入会説明会を実施し、「音羽児童館のしおり」を配布。学童クラブの役割や目的を説明。生活の流れや決まりなどを丁寧に説明、個別に質問に答えることで安心して学童クラブの生活が送れるように努めることができた。
		○保護者懇談会の実施	年に2回、保護者懇談会を実施。学童クラブの過ごし方や学童クラブの役割について周知。今後も、保護者との連携を図り、定期的開催する。
	子育ての仲間づくり	○途中入会児童への対応	受け入れに際して、保護者への説明をはじめ、児童に対しても学童クラブの生活に少しでも早く慣れることができるように親しい友達と一緒に過ごし、徐々に好きな遊びを見つけて過ごせるよう配慮した。
	子育てを支えるネットワーク形成	○小学校、地域との連携	活用することにより、児童館から保護者へ、保護者から児童館へ風通しの意見の相互交換ができた。今後も、出欠確認だけにとどまらず、連携や関係性の確立に役立てていく。 小学校とのおたより交換を主として、小学校との連絡体制を密に行った。地域との信頼関係構築し、児童館の行事にお手伝いで入ってもらうなど、児童と地域住民が触れ合う機会をつくった

( 令和6 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市普羽 ) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
(1)基本的取組 (挨拶、整理整頓)	随時	29	17	18	12	10	2	0	0	0	0	0	0	0	88	日頃より挨拶の習慣をつける。片付けの習慣が身につくよう繰り返し話をす
(1)そうじの時間	23回	425	208	147	98	36	20	5	0	0	0	0	0	0	939	職員と一緒に児童館をきれいにする。
(1)1年生児童館探検	1回	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	児童館を知るために探検する。
(1)交通安全講習会	1回	19	12	10	6	0	1	1	0	0	0	0	0	2	51	山科署警察署の警察官をお招きして、交通安全について学ぶ。
(1)防犯教室	1回	19	10	5	5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	42	山科署スクールサポーターをお招きして、防犯について学ぶ。
(1)手洗いのお話	1回	15	8	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	32	看護学校実習生から手洗いについて学ぶ。
(1)交通安全・防犯教室	1回	16	10	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	35	山科署交通課をお招きし交通安全に、防犯について学ぶ。
(1)歯のお話	1回	21	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	看護学校実習生から歯について学ぶ。
(1)避難訓練	10回	165	59	42	33	8	2	1	1	0	0	0	0	3	314	災害時や不審者の対応について訓練を行う。
(1)ジェスチャーゲーム	1回	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	看護学校実習生企画のジェスチャーゲームを行う。
(1)学童机出し練習	2回	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1年生が学童机を出す練習をする。
(2)スライム作り	1回	0	7	6	8	3	3	0	0	0	0	0	0	0	27	長期休暇中の長い時間を使って工作を実施。
(2)誕生会	毎月1回	218	107	65	60	19	10	2	0	0	1	0	0	0	482	各月に学童クラブの仲間の誕生日をお祝いする。
(2)誕生会おやつ選び	毎月1回	21	8	7	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	47	誕生月の児童が、1日分のおやつをリクエストする。
(2)所先生を送る会	1回	21	11	6	8	6	1	4	2	0	0	0	0	0	59	職員の退職を児童とお祝いのする。
(2)ルール決定会議	2回	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	ソフトブロックの使い方について会議をする。
(2)PTA命の話	1回	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	PTA役員さんをお招きして、命についての話を聞く。
(2)運動してあそぼう	1回	19	10	9	8	4	1	0	0	0	0	0	0	0	51	講師の方をお招きして、体を動かして遊ぶ。
(2)ジェスチャー伝言ゲーム	1回	16	6	3	7	5	1	0	0	0	0	0	0	0	38	看護学生企画のジェスチャー伝言ゲームを楽しむ。
(2)〇×ゲーム	1回	24	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	看護学生企画の衛生に関する〇×ゲームを楽しむ。
(2)1,2年生マンカラ大会	1回	19	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1,2年生対象でマンカラ大会をする。
(2)駄菓子屋	1回	38	15	15	11	7	2	0	0	0	0	0	0	0	88	駄菓子屋スタッフからレプリカのお金でおやつを買う。
(2)駄菓子屋スタッフ	2回	0	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	駄菓子屋のスタッフとして店員役を行う。
(2)歌の録音	1回	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	メディカルフェスティバルで発表予定の歌を録音する。
(2)消防フェスタ飾り作り	1回	14	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	消防フェスタ用の飾り作りを行う。
(2)ハロウィンイベント看板作り	1回	14	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	ハロウィンイベントで使用する看板を作成する。
(2)やんちゃワールド	1回	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	やんちゃワールドに参加する。
(2)クリスマス会企画会議	1回	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	クリスマス会のスタッフが企画会議を行う。
(2)クリスマスおやつ袋づくり	1回	5	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	12	クリスマス会のプレゼントで使用するおやつ袋をデコレーションする。
(2)祇園祭り絵画取組	1回	7	5	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	17	希望者を募って祇園祭の絵画を作成する。
(2)ドコモ未来ミュージアム絵画	1回	9	7	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	24	未来の暮らしをテーマに絵画を作成し応募する。
(2)コイン落とし	1回	21	7	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	36	夏休みの遊びの活動として行う。
(2)お楽しみ会	1回	24	9	11	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	52	コーナー遊びをして、最後にスライドショーで1年間の思い出を振り返る。
(2)灯ろうづくり	1回	4	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	灯ろうに絵を描き、製作する。
(2)ふうせんドッジ	4回	8	36	29	8	4	0	2	1	0	0	0	0	0	88	雨天時に室内で運動あそびを楽しむ。
(2)絵はがきづくり	1回	17	8	8	9	3	1	0	0	0	0	0	0	0	46	絵はがきコンテストに向けて絵はがきを製作する。
(2)新聞紙あそび	1回	23	11	5	7	5	1	0	0	0	2	0	0	0	54	夏休みの長い時間を使って集団遊びを行う。
(2)空気砲	1回	19	9	7	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	45	夏休みの長い時間を使って集団遊びを行う。
(2)ちぎり絵	1回	8	2	2	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	20	夏休みの遊びの活動として行う。
(2)王様じゃんけん	1回	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	集団遊びの活動として行う。
(2)ハンカチ落とし	1回	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1年生を対象に集団遊びを行う。
(2)けん玉練習	毎週水曜日	52	5	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	63	けん玉検定に向けて練習を行う。
(2)けん玉検定	毎月1回	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	けん玉の技に挑戦し、検定を受ける。
(2)ハロウィンミステリーおやつ	1回	27	11	10	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	57	ハロウィン行事の一つとして、お菓子を用意して食べる。
(2)福笑い	1回	10	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	冬休みの長い時間を使ってお正月遊びを行う。
(2)羽根つき	1回	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	冬休みの長い時間を使ってお正月遊びを行う。
(2)かるた大会	1回	19	7	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	35	冬休みの長い時間を使ってお正月遊びを行う。
(2)毛糸あみあみ	2回	24	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	冬休みの長い時間を使ってお正月遊びを行う。
(2)かまぼこ落としで遊ぶ	1回	21	6	2	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	34	学童クラブならではの伝統的な遊びを行う。
(2)マンカラ大会	1回	16	4	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	28	希望者を募り、マンカラ大会をする。
(2)満足度アンケート (児童)	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	学童クラブ児童対象に、満足度アンケートを実施する。	
(3)保護者懇談会	2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	年2回実施。学童クラブでの様子について伝える。	
(3)連絡ツールの活用	随時															さくらdaysアプリで保護者との連絡を行う。
(3)満足度アンケート (学童保護者)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34	学童クラブ登録児童の保護者に、満足度アンケートを行う。
(3)おたより配布	11回	318	229	212	162	118	41	0	0	0	0	0	0	1080	月に1回発行。学童クラブ行事や、お知らせなどを保護者に伝える	

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること